

平成27年度 決算報告

— 安心な暮らしづくりと にぎわいの創出 —

特集

平成二十七年年度決算についてお知らせします。
一般会計の歳入は六十億八千七百七十五万円で、予算現額に対して九十九・一％の収入率でした。歳出は効率的な執行の結果、五十八億二千二百七十九万円で、予算現額に対して九十四・八％の執行率でした。
今月号では昨年度の歳入・歳出の執行状況と、財政健全化法に基づく健全化判断比率・資金不足比率の算定結果についてご報告します。

歳入

歳入総額は、前年度比六千二百百万円の増収となりました。これは、各種交付金や国庫支出金である社会資本整備総合交付金が増加したことが主な理由です。

平成二十年度から導入した都市計画税は、都市計画事業を対象とした目的税ですので、下水道の整備費に充当しました。決算額については次ページに掲載しています。

歳出

歳出総額は、前年度比五千四百百万円の増加となりました。昨年度は、安心して暮らせるまちづくりのための防犯・防災対策や、空港周辺地区を中心とした新たなにぎわいの創造に繋がる事業を積極的に実施しました。

目的別歳出では総務費で一億六千九百万円の減少（対前年度比マイナス十四・一％）、農林水産業費で二千九百万円の増加（対前年度比プラス三十七・七％）でした。

昨年度は第四次総合計画の後期基本計画開始年度でした。前期計画における進捗状況の分析を踏まえ、町では、まちづくりの将来像としている「にぎ

わいとやすらぎのアーバンビレッジ」をより高い次元で実現することを目指して各施策に取り組んでいます。

第四次総合計画のまちづくり目標別を実施した主な事業は次のとおりです。

目標1 快適で活気あふれるコンパクトなまち

・ 大山川堤防道路の整備

（3712万円）

大山川右岸堤防道路（神明公園側）に歩道を設置するための用地購入

・ 道路改良工事の実施

（1億1377万円）

中道地内において県道春日井稲沢線への接続道路整備に必要な用地購入

目標2 にぎわいを生み出す個性豊かなまち

・ 豊山町の魅力発信

（89万円）

マスコットキャラクター「地空人くん」のグッズ制作・町内外のイベント参加などにより、町の魅力をPR

・ 名古屋空港の利用促進

（789万円）

県営名古屋空港を利用された町民の方を対象に航空運賃を助成

・ 農業施設の定期的な更新

（9511万円）

農業施設の適正な維持管理により農地の有効利用や農業の活性化を図るため、用排水路やポンプ場電気設備の更新工事を実施

・ 都市公園の維持工事の実施

（352万円）

全国都市緑化あいちフェアのサテライト会場の神明公園にバラ園を設置するなど、都市公園を整備

目標3 安全・安心で住みやすさを実感できるまち

・ 防犯に関する施設の整備

（145万円）

犯罪を抑止するため総合福祉センターの新しい木、南館ひまわり、北館さざんかに防犯カメラを設置

・ 災害対応時における訓練の実施

（49万円）

全非常配備職員を対象に災害発生時の初動対応を想定した図上訓練を実施

・ AEDの設置促進

（30万円）

町内にある全てのコンビニエンスストア（七か所）に自動体外式除細動器（AED）を設置

・ 町営住宅の定期的な維持管理

（1354万円）

町営住宅の長寿命化計画に基づき、屋上防水工事を実施